

EeeBOX B202

MainMemory Extension Manual – for End User

はじめに

メモリーを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に動作させたときの処理速度が向上します。本機にはメモリースロットが2つあります。また、2か所のスロットに同じ容量のメモリーモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードとなり、異なる容量のメモリーモジュールを搭載したときに比べパフォーマンスが向上します。

重要

- ・ メモリー交換は自己責任で行ってください。(メーカーとしての保証は一切行っておりません。)
- ・ メモリー交換時、ベゼル(筐体)が破損する可能性があります。メモリー交換の作業においてベゼル(筐体)が破損してしまってもASUSでは一切保証をいたしません。
- ・ メモリーモジュールの相性問題は一切サポート外になります。

作業に必要なもの

- ・ プラスドライバー、マイナスドライバー
(ドライバーのサイズはネジのサイズにあったものをご使用ください)

メモリーを増設する際のご注意

※必ずお読みください※

- ・ お客様ご自身でメモリーの増設や交換を行った場合には、内部のコネクタの接続不備、破損、メモリーの接続が不十分であったことにより生じた修理は全て有償になります。
- ・ 本機に搭載されているチップセットの認識可能なメモリー容量は最大2GBになります。2GB以上のメモリーを設置しましても2GB以上は認識しませんのでご注意ください。
- ・ 電源コード、およびすべての周辺機器を取り外した状態で作業を行ってください。電源コードを接続したまま作業を行うと、メモリーモジュールや本機が破損する場合があります。
- ・ メモリーモジュールを取り扱うときは静電気にご注意ください。
- ・ 静電気による破損を防ぐために、次のことをご守りください。
 - － 静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上等など)で作業しないでください。
 - － 体から静電気を逃がすため、本機の金属部分に触れてからメモリーモジュールを取り扱ってください。ただし本機内部の金属部分には触れないでください。
 - － 通常メモリーモジュールは静電気防止袋に入っています。取り扱う直前まで袋から出さないでください。メモリーモジュールを取り扱うときは、半導体やコネクタ部分に触れないようにご注意ください。取り外したASUS純正のメモリーモジュールは、必ずお客様にて保管してください。使用しないメモリーモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。
- ・ 市販のメモリーモジュールに関しては弊社では一切サポートをおこなっておりません。ご不明な点がございましたら、メモリーモジュールの販売元にご相談ください。
- ・ メモリーモジュールには向きがあります。メモリーモジュールのエッジコネクタの切り欠き部とメモリースロットの突起の位置を正しくあわせて下さい。

①まず、本体裏面が見えるように設置します。



この[EeeBox]と記載されたシールが 2 枚添付されています。

②シールでネジが 1 隠されているので、シールを剥してネジをはずせるようにします。



※注意 : シールを剥しただけでは保証外にはなりません。(Not Warranty void)

③ 本体底面に 2 箇所あるネジをプラスドライバーではずします。



※注意 : 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないで下さい。故障の原因になります。

④ 本体側面と底面の隙間にマイナスドライバーを入れ、カバーを浮かせて外します。
外す側のカバーは底面を見てネジが上になる方向を外してください。(画像参照)

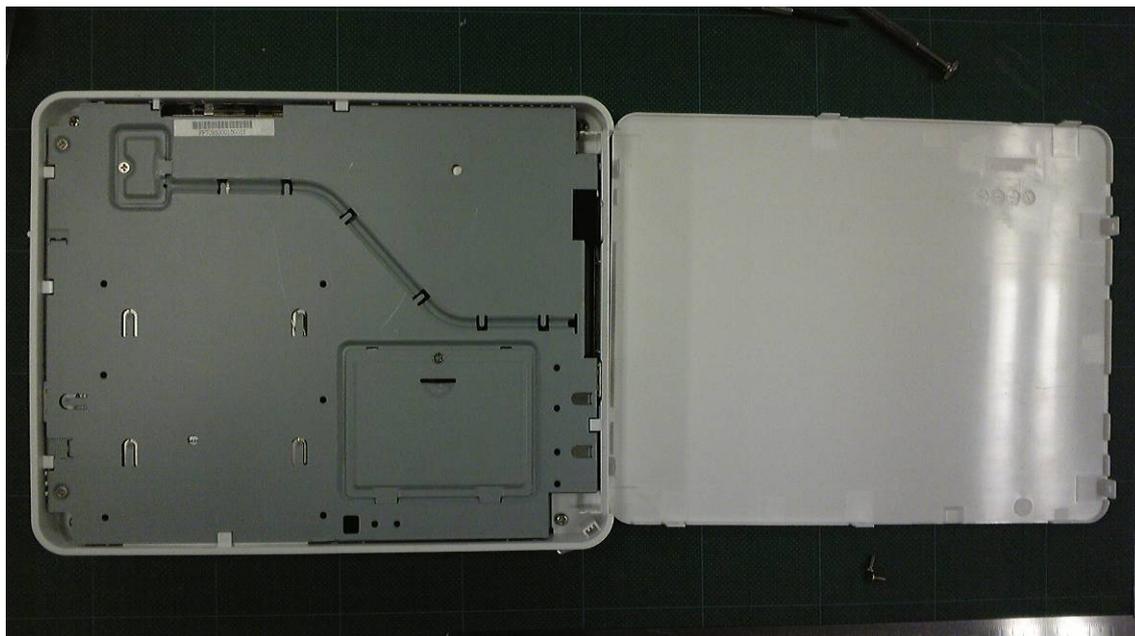


※注意 : この作業の際、ベゼル(筐体)が非常に破損しやすいので特に注意して作業を行って下さい。

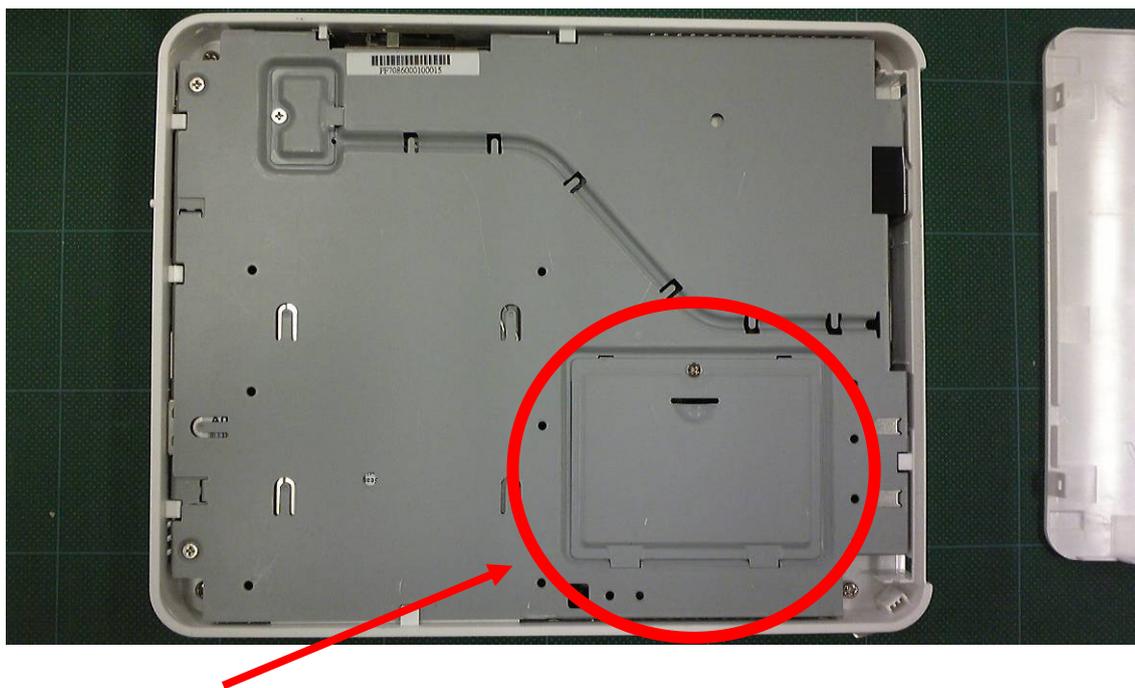
特に本体側面カバーの爪が破損しやすいので注意が必要です。

また、この作業の際にベゼル(筐体)が壊れた場合も Memory 交換自体自己責任で実行して頂く作業のため、一切保証外となります。

⑤側面カバーを取り外してください。

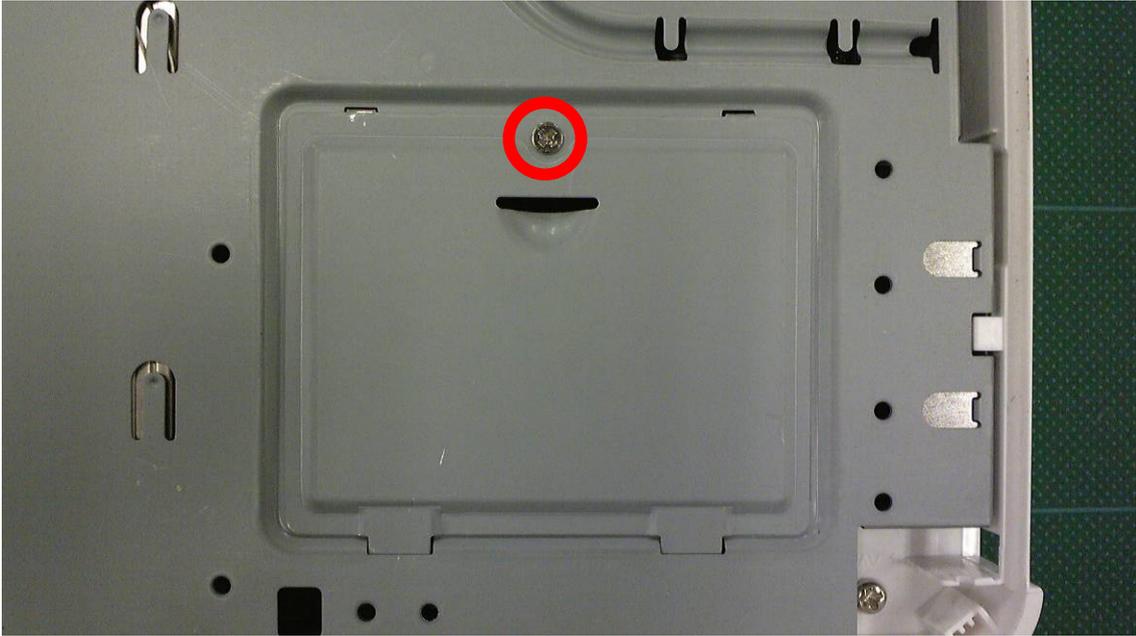


写真はカバーを外した側面です。

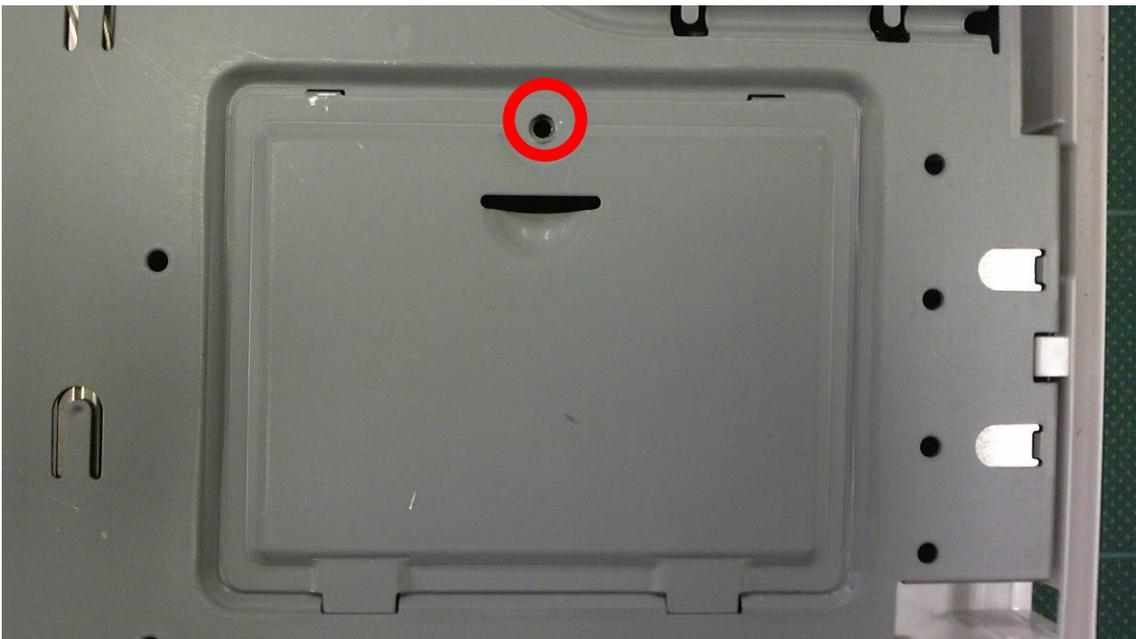


この場所にメモリーが搭載されています。

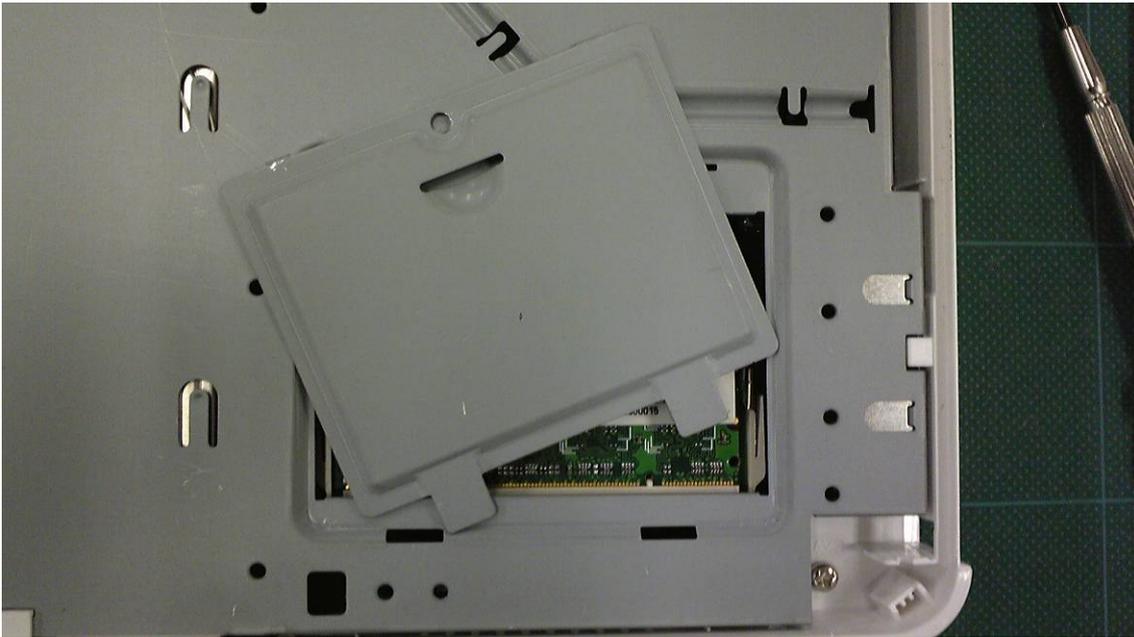
⑥メモリーが搭載されている場所のカバーを外します。
本体側面から見て右下の場所に位置しています。



まずプラスドライバーでネジを外します。



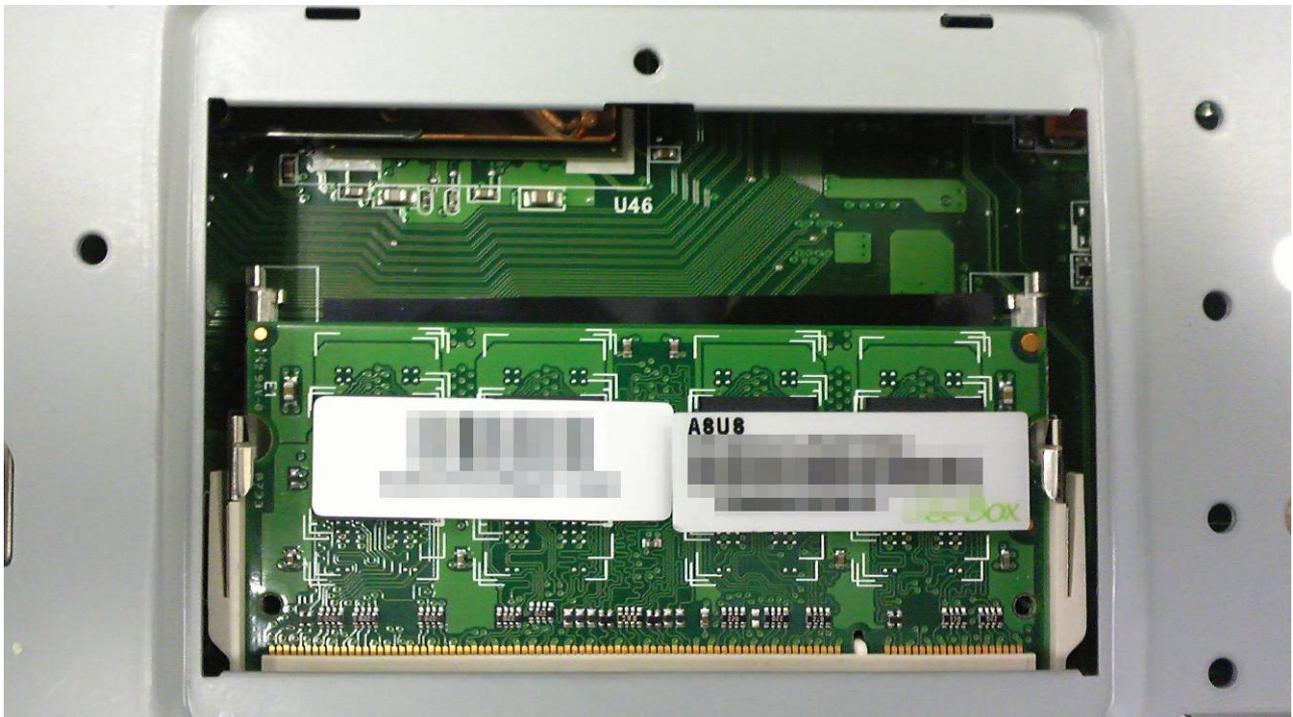
ネジを外したら、カバーを引き抜き外します。



メモリーを覆っていたカバーが外れると以下の写真のようになります。

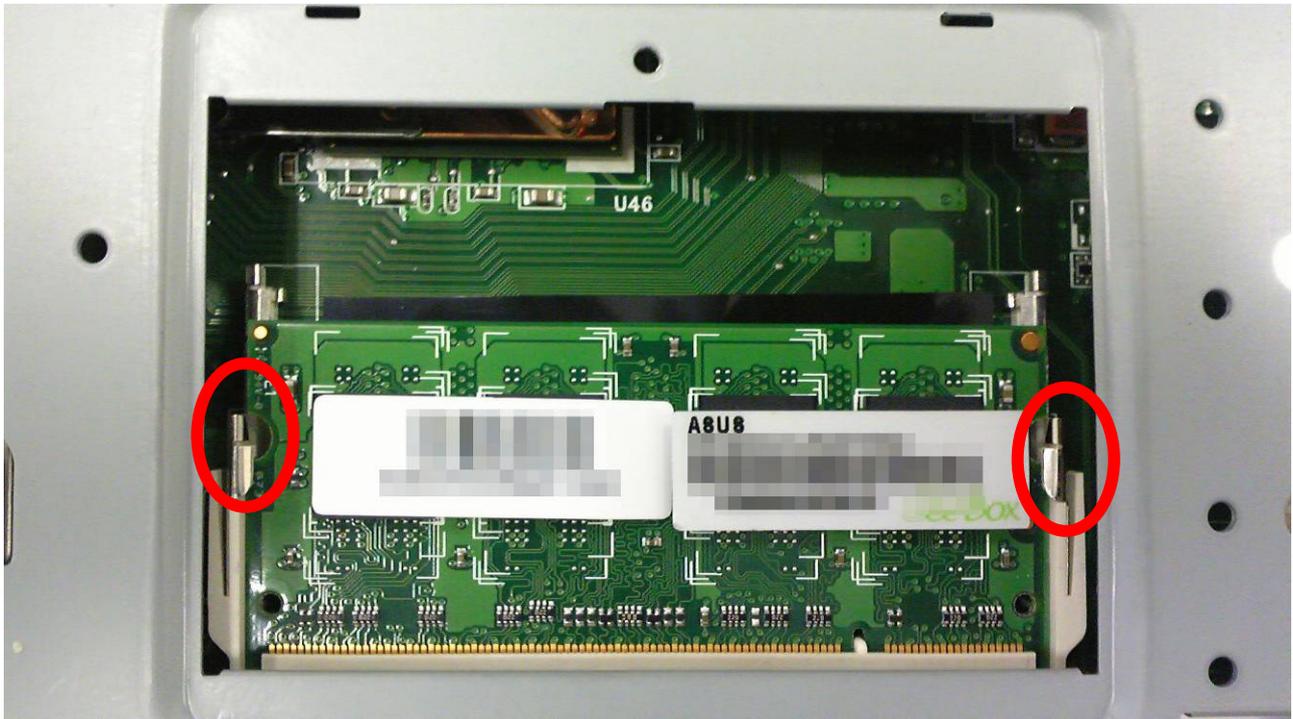
SO-DIMM メモリースロットは 2 つ搭載されており、標準では 1GB のメモリーモジュールが 1 つ搭載されています。

標準の空きスロットは 1 つです。

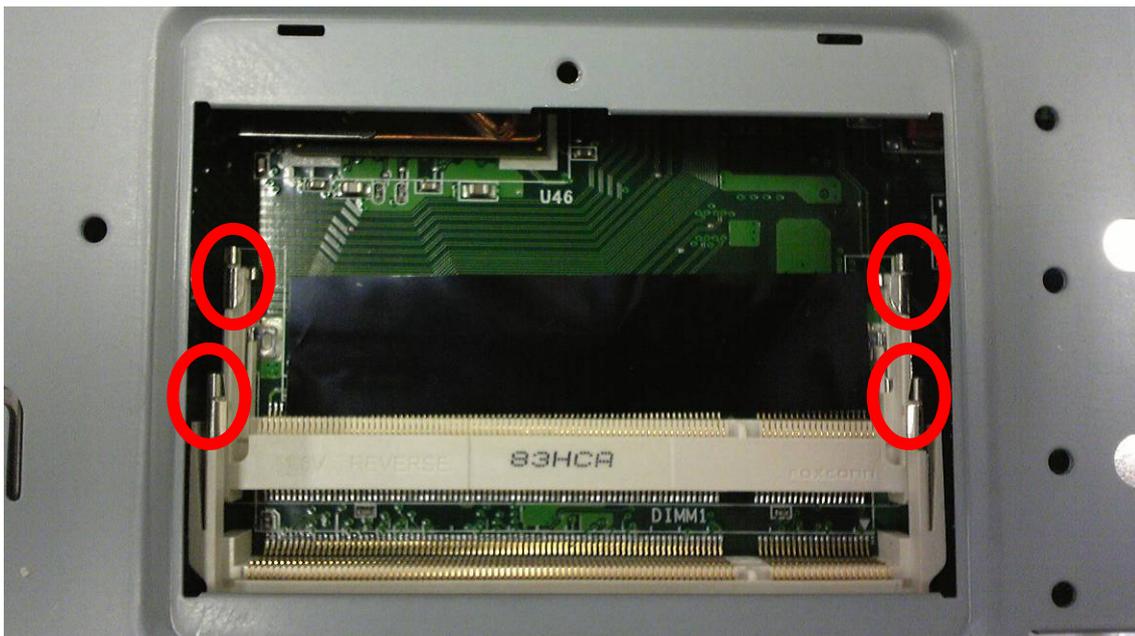


⑦交換の際は、メモリーモジュールの両端にある銀色の止め金具を外側へ押し向けます。
両サイドの止め金具を外側へ押し向けると、メモリーモジュールが斜めに押し出されます。
押し出されたメモリーモジュールを斜度に対してまっすぐ引き抜きます。

※注意：この作業の際、まっすぐ引き抜かず、斜めに引き抜いたり無理やりに引き抜くとメモリーモジュールだけでなく、メモリースロットの故障の原因となりますのでご注意ください。
また、メモリーモジュールを持つ際にはメモリーモジュールの両端を持って作業を行ってください。

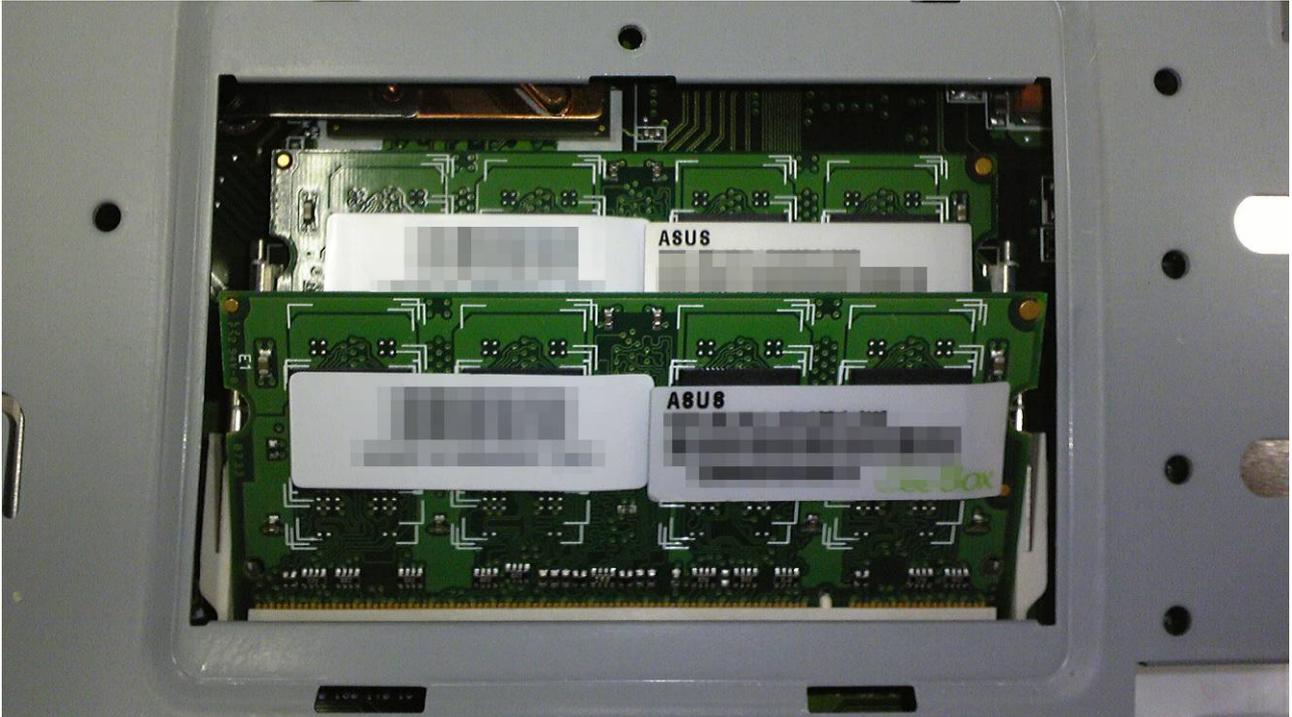


下記はすべてのメモリーモジュールを取り外した状態の写真です。



○印はメモリースロットの両端にある銀色の止め金具です。

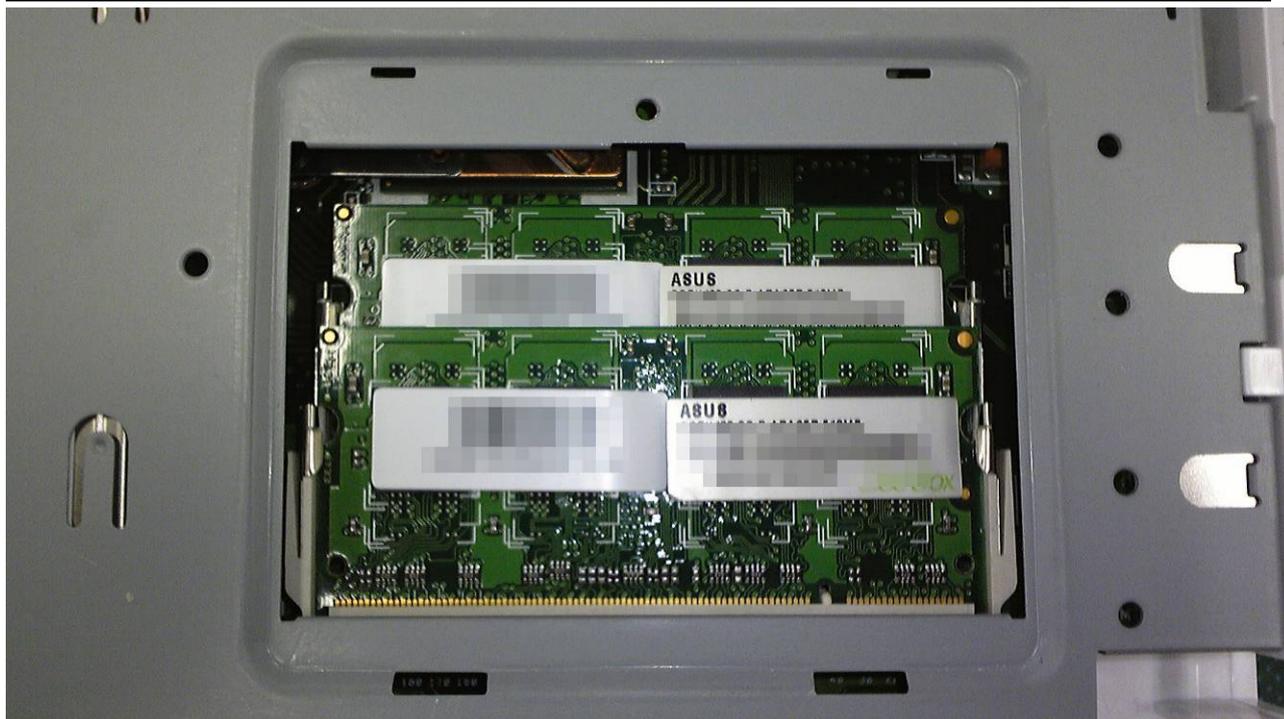
⑧メモリーモジュールの増設、追加を行う場合は、取り外す際と同じように、メモリースロットに対してまっすぐメモリーモジュールを差し込みます。



下の写真はメモリーモジュールが迫り上がっている状態のものです。



⑨メモリーモジュールの両端を持ち、メモリースロットの奥までしっかりと差し込みます。
両端にある止め金具にカチッとしっかりはまるようにメモリーモジュールを上から押し嵌めます。



以上でメモリーの追加、増設、交換作業は終わりです。

追加、増設、交換の作業が完了したら、取り外したメモリースロットのカバー、側面カバー、カバー止めのネジを元の場所に取り付け、作業は終了となります。

※注意：ネジは最後までしっかり締めて下さい。

認識しない場合

- ・メモリーの追加、増設、交換は、メモリーモジュールの差し込み状態が悪いとまったく認識しません。
- ・作業完了後はしっかりと認識しているかどうか、BIOSを起動して動作確認を行ったほうがよいでしょう。
- ・また、取り付け作業をやり直しても認識しない場合は、メモリーモジュールの故障、メモリースロットの故障、または相性によりメモリーモジュールが認識していない可能性が考えられます。その際は設置した以外のメモリーモジュール(可能であればメーカーも変更して)の動作の確認をすることが必要になります。

最後に

「修理依頼をされる際は必ず追加したメモリーを取り外し、出荷時の状態にお戻しください。」
出荷時の状態でない場合の修理は全て有償となります。